

6月25日(土)

大池自然公園 参加者45人) 子供24人 大人19人) スタッフ4人

風も気持ちよく 緑もイキイキ。でも真夏のような暑い日でした。

ピクニック広場に向かう途中の フカフカ山道に 「おもしろいね」とつぶやく子。

手作りのトンボを持ってきた親子 「昨日ホタル見に来ましたよ」と話してくれたお母さん アリジゴクを見つけた子 それぞれに自然を楽しんでいるんだなぁと感じました。



ノーズからスタート。カラス カエル バッタのクイズ。大きい子は2、3のヒントで分かって鼻を押さえ、自分だけ分かっていることにワクワク。

小さい子は家族で相談して つい答えを言ってしまうたり。考えてイメージすることが楽しそうでした。子供の時は水の中、大人になったら外にも

出るよ のカエルのヒントはいいなぁ。

鳴き声のヒントが一番ピンときたようでした。

次はバッタのカモフラージュ。折り紙で自分のバッタを作って4つの場所に別れて隠しました。いろいろな色が選べたけれど、黄緑を選ぶ子が多かったよう。

みつからないように、葉っぱの間に念入りに隠していました。後で自分のバッタが見つからないくらい、上手にカモフラージュした子も。自分のバッタがかわいくて？



隠したくないという子も。子どもたちにとってバッタは身近な生き物なのかも。

最後に かくれんぼ上手な生き物の 絵本を読み聞かせ。子どもたちは興味津々でした。この絵本カモフラージュの最初に見せたても良かったのかなぁと感じました。さらにバッタの気持ちになれたかも。

続いてはフィールドパターン。 かがんだり、遠くを見たり、手に取ったり 自然の中で色々な形を探しながら散策するのがとっても楽しそうでした。

カードに書き込むことにも熱心な子が。

「この葉っぱハートだ」

落ちていた木の实を見つけて「まるいね」

切り株の年輪を見て「これぐるぐるしてる」

大きな木の枝の並びに「平行かな？」

葉っぱの生え方は「Yになってる」など家族で話しながら進んでいるのが良かった。



ススキの原っぱに到着。大きな木の木陰で3つのグループごとに音いくつ。

風が強くほかの音はあまり聞こえなかった。

下から風の音がした セミの声 鳥の声も聞こえたという答えも。

虫メガネも用意していたが時間がなくて使えなかった。途中の草むらでたくさんの小さいバッタを見つけて、子どもたちが喜んで捕まえようとしていたのが印象的でした。

総評 反省

真夏のような暑さだったので、少し集中できないところもあったような気がします。

あえて水分補給の時間を取って、日陰でゴロリ 風の音を感じたり空を見たり...ひと休みする時間があっても良かったかな？と思いました。センターのスタッフの方がとてもよくフォローしてくれました。(報告：まめ)